

令和5年度 学校評価

長崎市立土井首小学校

1 教育目標

「よく学び いつも元気で やる気いっぱい」の子どもを育てる

2 学校経営方針

子どもが主体的に動く、しなやかでたくましい学校
～予測困難な未来を生き抜く子どもの育成～

3 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童	保護者 (回答率73%)	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	89	91	100	○ 学校教育目標「よいや」が根付いてきている。学校組織運営における「責任体制の明確化」が図られ「業務内容の改善」が推進された。今後は「職員の意識改革」にも取り組んでいく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	92	86	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			75	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	93	89	54	○ 本年度は、ルールやマナー・挨拶等の生活・生徒指導項目において、児童の肯定的評価が高い。このことから、児童は、生活面において改善が図られ、自身の生活の様子を肯定的に捉えていることが分かる。また、「いじめ防止対策」について、児童及び教職員で高い評価となっているが、保護者の評価は低いままである。このことから、さらに保護者と連絡を密に取り、家庭と連携して取り組んでいく必要がある。
		挨拶をよくしている	94	72	67	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	83	68	83	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	93	86	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	95	76	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	90	91	71	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	89	96	79	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	88	77	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	90	95	96	○ 校内では、研究の柱に「学び合い」を据え、子どもたちが「学習者」として主体的に学びに向かう学習を進めている。その成果として、全体的に肯定的割合が高い位置にある。引き続き指導を行っていく。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	92	88	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	83	91	83	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	91	71	96	
健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	93	86	92	○ 本年度も、早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)項の評価が全体的に低い。基本的生活習慣の改善へ向けて、家庭と連携して取り組んでいけるよう家庭へ一層発信し、協力を呼びかけていく。ICT機器やクロムブックをより効果的に活用していく。
		体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的生活習慣)が身に付いている	75	72	
	食育	体力向上に努めている	88	84	92	
		食に関する教育活動を行っている	87	94	87	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	83	95	100	○ どの項も、概ね高い評価となった。PTAや地域の方々が日々来校され、教育活動へ参加される姿を児童も見ている。本校のよい文化である。継続していきたい。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	76	90	87	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	82	91	100	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			96	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	82	85	83	○ 教職員にとって、働きやすい職場づくりが進んでいることは良い傾向である。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			92	